

3月1日～7日は 春の火災予防週間

春も冬と同じく空気が乾燥し、火災が発生しやすい傾向にあります。火災は火の不始末などのちょっとした不注意によるものが大半です。家庭での気をつけたい習慣と、その対策を紹介します。

火の用心！



粕屋北部消防本部
「カスホーク」

平成30年度 全国統一防火標語

「忘れてない？ サイフにスマホに火の確認」

問い合わせ先 粕屋北部消防本部 ☎944-0131 (代表) 役場地域協働課 ☎963-1734 (直)

あなたは大丈夫？ あてはまるものにチェック☑しよう！



チェックがついた項目を見直しましょう！

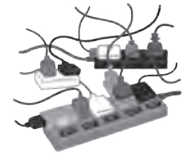
たばこを吸っている

寝たばこは大変危険です。火がついた状態で放置してはいけません。寝具への着火による死傷や、一酸化炭素(CO)を吸引して意識を失うなどの危険性もあります。



ひとつのコンセントに多くの電源プラグを差している

たこ足配線をすると、電源プラグやコンセントなどが熱を持ちます。電源プラグの差込口にほこりがたまっていると、出火の原因となります。



スマートフォンが熱くなったことがある

スマホを充電しながら寝たり、長時間使用したりすると、過充電となる場合があります。日常使いで過度に熱く感じたら、販売店に問い合わせましょう。出火だけでなく、やけどの原因となる場合があります。



線香・ろうそく・キャンドルをつけたままにしている

倒れにくい台や延焼防止の受け皿を使用し、火がついた状態で部屋を離れないようにしましょう。子どもやペットが届かない位置に置きましょう。



コンロ周辺にものを置いている

タオルや油などの燃えやすいものは、コンロの近くに置かないようにしましょう。



袖や裾の長い服装で調理している

着衣着火を防ぐため、手前のコンロを使用したり、袖口をしばったりするなどの対策をしましょう。



知っていますか？住宅用火災警報器

住宅内で煙や熱を感知したとき、音声やブザーで火災を知らせる警報器を「住宅用火災警報器」といいます。町では、平成18年から設置が義務化されています。

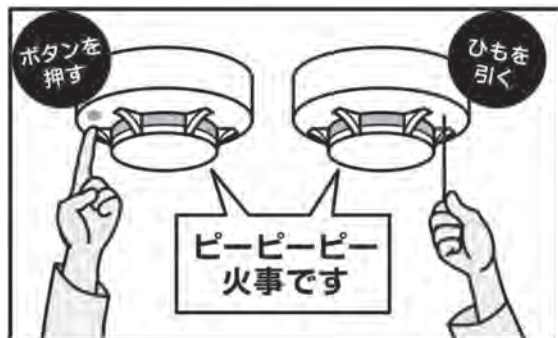
【粕屋北部消防本部管内での事例】

居住者が鍋をコンロにかけたまま外出し、近隣住民が警報音と窓からの煙を確認し、119番通報した。その結果、火事を防ぐことができた。

▶町内での設置率は約88%（平成30年1月末現在）

▶電池の寿命は約10年！定期的な点検を！

点検方法は右図を参考にしてください。



ボタンを押したり、ひもを引いたりして、アラーム音が鳴れば、正常。反応しない場合は電池切れや故障の可能性あり。

初期消火で大活躍！住宅用消火器を備えよう！

初期消火には、消火器はとても有効です。家族みんながわかる場所に設置しましょう。

【古くなった住宅用消火器を回収します】

古くなった住宅用消火器を使用したことによる破裂事故が全国で発生しています。火災予防週間に合わせて、有料で回収します。当日は消火器の販売も行います。詰め替えはありません。

日時 3月3日(日) 午前9時～正午

場所 粕屋北部消防署新宮分署前、
粕屋北部消防本部前

回収料金 1,000円

問い合わせ先 粕屋北部地区防災協会
(粕屋北部消防本部予防課内)

☎944-0021

▶古くなった消火器の特徴

○傷、へこみ、さびがある

○使用期限を過ぎている

※使用期限は消火器のラベルを見てください。



新宮町消防団からのお知らせ

【春の火災予防週間での活動】

消防団が夜間に町内を巡回するなど警戒にあたります。

3月1日(金)、7日(木)の午後8時に、防火意識高揚のためサイレンを鳴らします。

火災ではありません。ご注意ください。

消防団員募集

お近くの消防団員または

役場地域協働課まで

☎963-1734

